

日本くすりと糖尿病学会糖尿病薬物療法認定薬剤師制度

2026 年 第 6 回技能研修会 アドバンス編

開催日：2026 年 11 月 15 日（日）

<WEB 開催>

この研修会は、本学会の糖尿病薬物療法認定薬剤師制度における、認定薬剤師制度申請・更新のためのプログラムです。

5 年以内の受講が必須となっています。技能研修会アドバンス編は、認定薬剤師または履修薬剤師（旧制度の准認定薬剤師）のスキルアップを目的として開催されます。認定取得者が、もう一歩踏み込んだ症例検討、もう一歩踏み込んだ自己注射、もう一歩踏み込んだ SMBG について習得します。

2026 年 11 月 15 日（日）9：55～15：35

<症例検討>

スモールグループに分かれ、提示された症例について、問題点の抽出と解決方法や対応などについてディスカッションをしていただきます。

9：45 より Zoom へ入室
9：55～ 開会の辞
10：00～ セミナーの目的・進行等説明
 症例の説明
 グループディスカッション
 専門医によるレクチャー
 患者情報から処方内容を通じて医師の治療方針を確認
 処方提案 副作用の検討 シックデイの対応 等
11：55～ まとめ
12：00 終了
<休憩>

<自己注射手技> <SMBG>

医療用具・機器（注入デバイス・注射針・血糖自己測定器など）を適正に使用するため指導法を、症例を用いてディスカッションします。

12：30 より Zoom へ入室
12：45～ セミナーの目的・進行等説明
 グループディスカッション
 注入デバイスの特徴と症例に適した選択および指導
 注射手技と血糖コントロールの関係
14：10～ まとめ
14：15 終了
<休憩>
14：30～ セミナーの目的・進行等説明
 血糖自己測定時に生じやすいトラブル要因と対応
 グループディスカッション
 症例への実践的指導および血糖モニタリング
15：25～ まとめ
15：30～ 閉会の辞・15:35 終了

受講料：1 日間 9000 円（会員）

受講認定：日本くすりと糖尿病学会糖尿病認定薬剤師制度(06)研修単位 3 単位

糖尿病薬物療法認定薬剤師制度 技能研修アドバンス編 修了証（3 種各 1 部）

申込方法：日本くすりと糖尿病学会ホームページからお申込みください。<https://jpds.or.jp/>

募集人数：80 名 9 月 21 日(月) 20 時受付開始（10/18 〆切 但し、定員に達し次第受付終了）

注意事項：

- ・研修会は次の書籍を参考にレクチャーを進めます。『糖尿病の薬学管理必携 糖尿病薬物療法認定薬剤師ガイドブック』第 2 版(じほう)、『糖尿病治療ガイド』(日本糖尿病学会)、『糖尿病薬物療法 継続的薬学管理のためのてびき』(日本くすりと糖尿病学会)
- ・本研修会は、ZOOM にて開催いたします。お申し込みの前に、受講可能なインターネット環境が確認してください。
- ・本研修会は修了証・認定単位を発行・郵送するため、受講者の住所、氏名、薬剤師免許番号、会員の有無を申込時に確認させていただきます。なお、それらの情報は本研修会以外の目的では使用しません。
- ・PC の場合、有線 LAN への接続を推奨します。難しい場合は Wi-Fi やテザリングでの接続を活用してください。タブレットの場合、Wi-Fi への接続を推奨します。難しい場合は 4G 以上の回線への接続を活用して下さい。通信料は自己負担となります。ZOOM はテストページで視聴確認できます。（URL <https://zoom.us/test>）
- ・通信環境の不具合により、規定された時間の参加が不可能となった場合には、修了証・認定単位はお渡しできません。
- ・受講状況確認のため、研修会開催の中で午前 3 回、午後 4 回の「キーワード」発行を行います。必ず記録して下さい。
- ・研修会終了後に提出するレポート・キーワード（午前 3 回・午後 4 回）回答に誤りや不足がある場合は、修了証・認定単位はお渡しできません（午前・午後の分割でのお渡しも不可）。
- ・修了証・認定単位は、研修会終了後に合格が認められた受講者の登録先に郵送します。住所の誤入力で受取れなかった場合は、再発送は致しません。
- ・本研修会では、他の CPC 認証団体への受講証明書の発行は致しません。
- ・いかなる場合もご返金は致しかねますのでその旨ご了承下さい。また期日まで入金を確認できない場合は自動的にキャンセル扱いとなります。
- ・後日、受講案内メールが届きます。受講方法はその指示に従って下さい。開催 6 日前までに受講案内メールが届かない場合は、事務局にご連絡下さい。
- ・開始時間より 10 分以上の遅刻、および途中退席の場合は、修了証および認定単位はお渡しできません。
- ・代理人の参加はできません。

主催：一般社団法人 日本くすりと糖尿病学会 技能研修委員会

問合せ先：一般社団法人 日本くすりと糖尿病学会 事務局 E-mail：jpds@advacation.jp

日本くすりと糖尿病学会 糖尿病薬物療法認定薬剤師制度

2026 年 第 6 回技能研修会 アドバンスト編

開催日：2026 年 11 月 15 日（日）9：55～15：35 WEB 研修会（Zoom システム）

【技能研修小委員会】

・武藤 達也 ・森 貴幸 ・坂倉 圭一 ・秋吉 明子 ・井上 享子 ・鎌田 敬志 ・河崎 尚史 ・小林 庸子
・藤井 博之 ・堀井 剛史 ・山本美絵

【ファシリテーター】

・江藤 良典 ・大東 敏和 ・菊池 千草 ・葛葉 守 ・小林 路子 ・佐々木 弘好 ・篠原 久仁子 ・辻本 勉
・寺田 芳弘 ・中村 敏史 ・西村 博之 ・濱野 峰子 ・廣田 有紀 ・本田 一春 ・本間 三絵 ・柳瀬 昌樹
・井上 亜紗美 ・江本 晶子 ・児玉 暁人 ・坂井 千夏 ・作並 雅幸 ・佐藤 伸輔 ・菅原 秀樹 ・鈴木 さとみ
・高松 真衣 ・瀧平 純一 ・塚本 有佳子 ・増本 憲生 ・森田 友浩 ・六車 龍介

くすりと糖尿病学会認定薬剤師に必要な、薬物療法における以下の専門的スキルを習得するための研修会です

症例検討 コース 9：55～12：00

糖尿病患者の治療戦略～有効な処方設計と低血糖を防ぐには～

【オーガナイザー】・多摩総合医療センター内分泌代謝科 医師 辻野 元祥 ・(株)大和調剤センター 森 貴幸

【研修の目的】

1. 糖尿病薬の飲み忘れ時の対応やシックデイなどの対応を概説し、服薬指導を行うことができる。
2. 運転中に低血糖を起こす危険のある薬剤を理解し、危険回避について適切な指導ができる。
3. 病院・薬局にいられる患者さんの療養指導事例を通して、基本的な糖尿病治療の臨床的な 状態、医師の治療内容、指導のポイントや関わり方を学習する。
4. グループワークにより、他施設の薬剤師と参加者同士のコミュニケーションが構築できる。

自己注射手技 コース 12：45～14：15

【オーガナイザー】・中北薬品 武藤 達也 ・鶴岡市立荘内病院 鎌田 敬志 ・虎の門病院 藤井 博之

【研修の GIO】

糖尿病治療のために、患者が医療用具・機器（注入デバイス・注射針・血糖自己測定器など）を適正に継続して使用できるよう、
患者の背景・事情を把握し、多角的に問題点を発見・抽出し、解決することができる。

【研修の SBOs】

1. 患者のアドヒアランスや QOL に配慮し、身体機能、実践力に応じた自己注射法・穿刺手技・血糖測定法を提案できる。(技能)
2. 自己注射（穿刺手技を含む）・SMBG における臨床で生じやすい代表的なトラブルシューティングを列举し、その理由と対策を概説できる。(知識)
3. 患者の療養生活において、適正な自己注射・SMBG を行うための留意点を抽出できる。(知識)
4. 注射針の穿刺手技と血糖コントロールの関係について概説できる。(知識)
5. 具体的な血糖モニタリング法について概説できる。(知識)

SMBG コース 14：30～15：35

【オーガナイザー】・中北薬品 武藤 達也 ・鶴岡市立荘内病院 鎌田 敬志 ・虎の門病院 藤井 博之

【研修の GIO】

糖尿病治療のために、患者が医療用具・機器（注入デバイス・注射針・血糖自己測定器など）を適正に継続して使用できるよう、
患者の背景・事情を把握し、多角的に問題点を発見・抽出し、解決することができる。

【研修の SBOs】

1. 患者のアドヒアランスや QOL に配慮し、身体機能、実践力に応じた自己注射法・穿刺手技・血糖測定法を提案できる。(技能)
2. 自己注射（穿刺手技を含む）・SMBG における臨床で生じやすい代表的なトラブルシューティングを列举し、その理由と対策を概説できる。(知識)
3. 患者の療養生活において、適正な自己注射・SMBG を行うための留意点を抽出できる。(知識)
4. 注射針の穿刺手技と血糖コントロールの関係について概説できる。(知識)
5. 具体的な血糖モニタリング法について概説できる。(知識)